

目標達成計画

作成日: 平成 25年 3月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26・27	・利用者の方のケアプランの見直し、書式変更、プランに沿った計画、記録、評価がしやすい書式がない)	・書式の変更により記録が短縮化され利用者とかかわりが増え質の向上ができる。	・利用者の問題点の検討、ケアプランの見直し、 ・誰が見ても分かりやすい書式の作成。	3ヶ月
2	13	・職員の質の向上	・外部研修、施設内研修、他施設との交流ができてスキルアップにつながる。	・自他ともに研修への積極的参加。 ・研修参加後にフィードバックとして自施設職員への伝達講習を行う。 ・他施設との交換研修 ・資格取得の取り組みとやる気への応援、 ・取得後の(介護福祉、およびケアマネの場合は取得後助成金の交付) ・感染症のマニュアルの見直し・事故、ヒヤリハットについての勉強会 ・虐待、身体拘束、権利擁護についての勉強会	12ヶ月
3	35	・災害(火災・地震・原発)等災害時の避難誘導における手順のマニュアル等が把握できていない。 ・また緊急時の対応マニュアルが把握できていない。	・職員全員が各種災害、および緊急時の対応について把握し対応ができるようになる。	・定期的な災害訓練を毎月1回ユニット会議において講習を行い、年3回は施設全体の訓練と地域との連携による避難訓練の実施計画。 ・緊急時のマニュアルの見直し。	12ヶ月
4	16	・利用者の家族様にもっと陽恵苑を知ってもらい、行事などの参加していただき信頼関係がもっとできるようになりたい。	・陽恵苑に来ていただき機会が増え、利用者の方が喜んでもらえるようになる。	・陽恵苑だよりの継続、行事内容を事前に知らせ参加していただく機会を増やす。 ・家族会の発足に向けての働きかけ。	12ヶ月

5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に陽恵苑あり、行きやすい陽恵苑、職員の顔を覚えてもらう。 ・地域への協力、地域からの応援ができる関係が築ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への情報発信（陽恵苑だよりの回覧による広報活動） ・地域運り推進会議の報告 ・毎年祭を行う。出店やボランティアの参加呼びかけ。 ・地域行事への参加及びボランティア活動。 	12ヶ月
6	33	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の重度化に伴い看取りの希望者も出てくる状況がある。看取りに対する職員の気持ちが揺れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療連携体制に伴う契約を行い、訪問看護との連携もでき困ったときに相談ができ、マニュアルの作成および把握ができ、夜間でも落ち着いた対応ができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りについて職員の知識を深める。 ・利用者の看取りについて家族への働きかけ。 ・家族に対しての看取りについて十分な話し合い理解を深める。 ・個別の対応についてのマニュアルの作成。 	12か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。